



防災対策について
真剣に話を聴く参加者



雨の中、自宅から徒歩で
避難する参加者

白幡地区避難訓練

9月2日、白幡地区の住民が津波避難訓練を実施しました。午前10時に消防車のサイレンを合図に訓練が開始され、白幡区民約240人が徒歩、自転車等で旧白幡児童保健院体育館へ避難しました。白幡地区の避難場所は鳴浜小学校ですが、同地区からは海に向かうことになるため、旧保健院の体育館を避難先に設定して訓練を実施。避難完了後、消防防災課から防災対策、社会福祉課から災害時の要援護者の避難計画等について話があり、地区の住民は真剣に話を聴いていました。

河島区長は、「これからも訓練を続けたい。今後、炊き出しなども行っていきたい」と話していました。

蓮沼小学校防災訓練

9月6日、蓮沼小学校児童とその保護者約50人が参加しての防災訓練が、同小学校で行われました。マグニチュード8の地震による津波が発生したと想定し、迅速に行動できるように避難訓練を実施。避難訓練後、地震体験車・煙体験ハウス・水消火器を保護者を交えて体験。また、備蓄倉庫の説明を聴いたり昨年の津波発生当時のビデオを見るなど、防災対策の大切さを再認識しました。



地震体験車を体験

小・幼・保、合同避難訓練(鳴浜)

鳴浜小学校と鳴浜幼稚園・保育所合同の避難訓練が9月3日、鳴浜小学校で行われました。

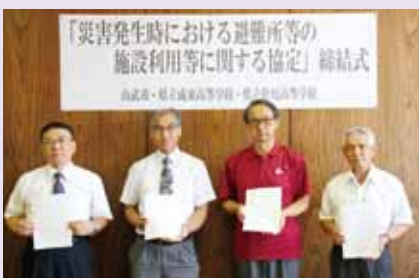
普段は、小さくたたまれた状態、災害時広げるとヘルメットになる「タタメット」が市内の小学校、幼稚園、保育所に配布され、それを今回使用して訓練を実施。地震発生放送で校庭に集合した後、津波を想定し、同小学校校舎3階へ避難しました。避難訓練後、保護者へ児童を引き渡す引き渡し訓練が行われました。



避難を開始する児童

今月号からボクが
ガンバります

災害時の協定を締結



成東高校、松尾高校との「避難所等の施設利用等に関する協定」締結時

津波避難ビル協定

市は、1月に有料老人ホームエクセルシオール山武(本須賀)、8月にはシーサイドホテル九十九里(本須賀)と津波避難ビル協定を締結しました。いざという時に遠くへ避難する余裕がない場合など、一時的な避難場所として利用いただけます。

避難施設利用協定

市は、避難場所として指定されている成東高校と松尾高校の2校と、災害時に避難所として迅速に利用できるよう、「避難所等の施設利用等に関する協定」を締結。今回の協定で高校内の施設の利用計画を具体的に決めました。(8月31日)

カメラマンSUNくんが撮る!

写

真

館



